

応募(最終公表)
推進委員応募状況(令和8年2月26日現在)

受付番号	応募する区域	氏名	性別	年齢	職業	経歴		農業経営の状況 ①経営形態 ②営農年数	応募理由	農業委員への応募の有無
						年月日	事項			
1	第6区	出水 豊明	男	69	農業兼会計年度職員	平成26年4月1日～ 令和8年4月8日～令和8年12月2日 令和8年4月～	美原区平尾イザリ谷水利組合代表. 会計 JA大阪南農業塾受講申請済 令和8年度みはら農業塾受講申込済	①兼業 ②30年	私の所有している田(美原区平尾地区)の周辺では耕作放棄地が多く耕作環境は年々悪化しています。高齢化や後継者不足、採算が合わないので仕方なくという理由が多く、さらに鳥獣被害や異常気象がそれに拍車をかけています。 そこで、新規就農相談役に力を入れ、魅力ある農業を目指して若者、特に女性に参加してもらい地産地消をスローガンに里山農業を進めたいと思います。	無
3	第6区	安野 喜三男	男	78	農業	令和5年6月1日～令和7年5月31日 令和6年4月1日～令和8年3月31日 令和7年1月1日～令和7年12月31日	堺市美原区政策会議 構成員 堺市地域公共交通会議 委員 水利組合 水役	①専業 ②30年	都市近郊農業である堺市が直面する最大の課題は農業だけでは『生計が立てられなくなった』ことです。そのことから近年専業農家が急激に減少し兼業農家へと移行したが農地の多くは狭隘で而も小規模経営が多く機械化に適さないこともあり 農業を継いだり 新規に就農する人が殆ど皆無になっているのが現状です。 このまま放置すれば衰退するのは明白で 消滅することすら危惧されます。 当市には幸い 府内で唯一の公立大学の農学部 農芸高校があり又日本有数の農業機械メーカーが存在します。 そこで新たに取り組みたいのは 両学校、農機メーカー、行政、農協、農家からなる農業を推進する組織の構築です。 生産から販売までワンストップで経営することで 生計が立てられる新たな農業の確立が最大の事由です。 それを実現するためには 以下の事項が必要です。 まず第一には推進、従事する人材確保です。 両校には 農業に関心があり 意欲のある人材多く就学されており又AI等新たな農業にも取り組まれています 第二には利用集積です。 小規模農家、貸地、耕作放棄地が多く 経営基盤を確立するためには利用集積をスムーズに促進するためには行政の参加は必須です。 第三は省力化、無人化の推進です 農機メーカーには今まで培ってきた経験とノウハウがあります。 第四は資材の調達と生産物の販売です。 農協は肥料、資材等安定して調達が可能であり 道の駅を運営しており販売ルートが確立されている。 以上の事から 当該プロジェクトを推進することで経営基盤を確立して魅力ある農業に変換し 地産地消を実現して安定供給を図り 食料の安全保障にも資することを目出します。	無

※上記の内容は、応募申込書の内容を記載しています。